

地質ニュース

昭和 52 年 12 月

第 280 号

1977

海洋地質部の最近の研究の概要	海洋地質部	1
深海底鉱物資源探査に関する基礎的研究	水野篤行 盛谷智之	5
地質調査所の日本周辺海域の海洋地質調査活動 ～昭和52年度の白嶺丸による調査航海～	井上英栄 本座	14
人工衛星測位装置 (NNSS) による位置測定	石原丈実	30
海峡形成史 VI 海峡形成史からみた日本列島の成立	大嶋和雄	36
海洋科学調査船「東方紅」号	岸本文男	56
日本の陶土を訪ねて (その2) 薩摩焼	藤井紀之	45
地殻熱部 地殻熱物性課の発足	陶山淳治	29
人事異動		4
アフール・イサーの地質学切手	P. Q.	58
地質調査所の出版物		59
西南日本外帯沖広域海底地質図	奥田義久	60
地質ニュース総目次 (No. 269—280) 1977年		61

編集 地質調査所

表紙の写真

東海沖の海底地質構造

最近出版された海洋地質図 No. 8「西南日本外帯沖広域海底地質図」から 駿河湾 遠州灘沖 および熊野灘沖周辺部分をしめたものである。この海底地質図は 地質調査所「白嶺丸」による1975年の海底地質調査のデータに基づいた研究の結果作成されたものである。この地質図から判ることは この海域には南海舟状海盆に沿った断層構造が認められることである。この構造は プレートテクトニクス立場からみると 南海舟状海盆の沈み込みに伴った構造であると推定される。この研究結果は 今後地震予知総合研究の一部にも活用されるであろう。

(文 石油開発公団 奥田義久)

発行 株式会社 実業公報社